



みなさま、こんにちは。4月も終わりに近づいて、もうすぐゴールデンウィークですね。年度始めの疲れもそろそろ出てくる頃です。十分な休養と栄養をとって、どうぞ楽しい連休をお過ごしください。
今号のユーザーグループニュースでは、お問い合わせを多く頂いております解毒の取り組みについて、サプリメントアドバイザーのエッセイで取り上げてみました。ぜひ、ご参考になさってください。

<<この春のとってもお得なキャンペーン☆もうすぐ終了！4月30日まで>>

お子様のいるご家庭に大人気の「子供の健康必須プラスセット」がこの春だけ、特別に**バリューアップ**♪します。

このセットは、「ネオガードチュアブル」、「おなかサポートチュアブル」、「ネオセルプラス」の3つが入っています。通常これだけでも、実は相当お得なセットですが・・・

期間限定で「おなかサポートチュアブル」をもう1本プレゼント！

さらに今だけの特別価格で\$130が\$125に！！

どれだけお得になるか気になりますよね^^

それぞれ単品で購入することを考えると、

\$82 (約9,430円) も！お得な計算になるんです！

スタッフもびっくりするほど

今回太っ腹キャンペーンです (笑)

春は何かとストレスの多い季節です。

このお得な機会にぜひお子さんだけでなく

ご家族皆さままで体と脳に良い栄養を摂りませんか。

◆子供の健康必須プラスセット

3月～4月限定スペシャル企画

(商品番号：3095P)

価格125ドル

March-April Special Promotion



3月1日～4月30日限定スペシャル企画

「子どもの健康必須プラスセット」通常\$130を\$125。さらに！

おなかサポートチュアブル
もう1本プレゼント

<子供の健康必須プラスセット 摂取量の目安>

★ネオガードチュアブル★

体重5キロにつき、1粒。ネオガード同様に、初めての方は少量から始め、慣れてきた方は体調に合わせて増減しながらお続けください。喉が痛い時に、のど飴代わりとして摂るのもおすすめです。たくさん食べても問題ありません。

乳児は離乳食を始めた頃から摂ることができますが、与えるときは、すりつぶして離乳食に混ぜるとよいでしょう。

★おなかサポートチュアブル★

体重15キロにつき、2粒 ※おなかサポートチュアブル4粒が、でるサポート1粒にあたります。

★ネオセルプラス★

17歳以上：1日4-5カプセル 12～17歳：1日3カプセル 6～12歳以下：1日2カプセル 6歳以下：1日1カプセル
1日分を朝夕の2回に分けて、食事と一緒に摂取がおすすめです。

●液体タイプ「ネオセル」販売終了（在庫限り）のお知らせ●

「ネオセル」につきまして、生産終了のため在庫がなくなり次第、販売を終了させていただきます。人気商品のため、現在在庫も少なくなっております。どうぞお早めにお買い求めください。なお、同シリーズのカプセルタイプ「ネオセルプラス」は、販売しておりますので、引き続きご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

**<サプリメントアドバイザーエッセイ>****～ 準備万端で解毒の季節を迎えましょう ～**

クエスト社の製品が日本で購入できるようになって15年、クエスト・ユーザーグループの発足からこの6月で10年目になります。

この10数年変わらない皆様の興味は、もちろん健康を目指すことですが、そのために「解毒をしたい」ということをよくお聞きします。何らかの体調不良の改善のために「解毒が必要だと思うので・・・」と相談される方がとても多いという印象です。

「栄養がもっと必要だと思って/足りないと思って」という方のほうが少ないのです。

私どもクエスト・ユーザーグループでは、特に持病などが無い方でも、「栄養補強から始めて、3ヶ月以上経ってから解毒を足す」ということを体調改善のための一般的なご提案としていますが、持病等がある方、薬を飲んできた方には「体調が良くなった」という自覚が出てからの解毒をお勧めしています。

そのため、3ヶ月ではなくもっと長く栄養補強をしてから解毒を考えた方が良い方も多いです。

このご提案は、解毒製品が「ネオクレンズ」へと新しくなったこの2年を見ても、変わらずに大切な「解毒、そして体調改善への準備」だと思ってます。

実際に今の解毒製品「ネオクレンズ」になってからも、長く患っている方がご自身の判断で、栄養補強を摂らずに解毒だけを取り組み1年ほどして、期待した結果がないということでご相談頂く方がいらっしゃいます。

これは、現在ある解毒製品「ネオクレンズ」の問題ではなくて、やはり体の準備ができていなかったと思われます。

やはり毒を出すためにも、まず体の基礎作りが大切なのです。

「毒を出す」ということは、それだけで体のエネルギーを使うことですが、人間は大切な臓器を動かし生命を維持することが最優先ですから、解毒のために使える余分なエネルギーがない方は多いのです。

そして解毒とは、溜めていた毒素を血液中などに放出し最終的に様々な方法で体外に排出することですから、そのときに好転反応も起きます。

だるさや眠気、その他に痛みなども出ます。その状況を改善するために、そして細胞を修復し新しい細胞を作り出すにもより多くの栄養が必要になります。

腸内クレンジング「でるもんね」も同様に良い解毒にはなりますが、こちらも先に栄養を摂って体調をより良くしてからの方が良い結果が出ています。

今、食べ物の質さえ問わなければ、毎日安価にお腹を満たすことができるので、自分が「栄養が十分ではない状態」だと思う方はいないかもしれません。

眠れない、眠りが浅い、イライラする、鬱っぽいといった気持ちの問題とされることも、肌荒れ、ブツブツ、といった「何か外から塗れば良くなるのでは」と多くの人が思っていることも、そして妊活や難病と言われる症状の改善のためにも私たちの経験では栄養が基本であり要です。

夏は代謝も上がり汗が出て毒出しには最適の季節です。解毒の取り組みを考えてる方は、今から「ネオパック」、「ネオガード」といった栄養補強（+「でるサポート」で胃腸のケア）をしっかりと最低3ヶ月行い、

7-8月から解毒製品を足すことをお勧めします。



【ネオセルプラス4本セット】\$240

（注：上記のように、何らかの症状があり薬を服用中の方、または過去に薬の長期使用経験がある方には、栄養補強は3ヶ月では不十分な場合もありますので、ユーザーグループのサプリメントアドバイザーにご相談ください）

クエスト商品☆体験談募集中！



あなたの体験談を募集しています。形式、字数は問いません。掲載させていただいた方には、50ショッピングポイント（約5,750円相当！）を進呈いたします。

info@questuser.jp までお送りください♪

ネオクレンズQ&A

Q1)どんな人におすすめですか？

A1)小さいお子様からシニアの方までの幅広い世代の方におすすめします。私たちは、日々何千もの毒素や化学物質にさらされています。空気や食物、水、また薬物などを通して体内に知らず知らずのうちに多くの毒素が取り込まれています。深刻な健康問題を引き起こす前に、体に溜まった有害物質を取り除きましょう。

Q2)摂取上の注意事項はありますか？

A2)薬について、抗凝血剤（ワーファリンなど）との併用はできないため、ご注意ください。またピルの併用は、好転反応により、経血量が増えたり不正出血のような女性特有のトラブルに似た症状がでることもあるため、薬の評価ができなくなるのでおすすめしていません。長期間薬を使用している（使用していた）方、多種類の薬を使用している（使用していた）方などは、まずは1カプセルから様子を見ながら始め、低用量（1日1～2カプセル）で継続するなどゆっくりと取り組むことが大切です。その他薬の飲み合わせなどについては、ユーザーグループまでお問い合わせください。

Q3)ネオクレンズ1本が1ヶ月分ですか？

A3)90日間のプログラムを実行するためには、ネオクレンズ4本が必要です。メンテナンス（プログラム実施後の継続摂取）の場合は、1日3カプセル目安で、ネオクレンズ1本で40日分です。

Q4)ネオクレンズは子どもに摂らせてもいいですか？

A4)小さいお子さんも摂れます。体重10～20kgあたり：1日1カプセルを目安。カプセルで摂れない場合は、中身を出して、食べ物や飲み物などに混ぜてもよいです。健康問題や発達等が気になるお子さんの場合は、取り組みが通常と異なる場合がありますので、ユーザーグループまでご相談ください。

Q5)妊娠中・授乳中はやらない方がいいですか？

A5)ネオクレンズを開発したギブソン医師によると、妊娠中・授乳中も低用量（1日1～2カプセル）で継続することは赤ちゃんのためにも有益とのこと。妊娠中も低用量を守れば安全に取り組むことは可能ですが、普段よりも体調の変化など敏感な時期ですので、好転反応がでる可能性も考慮した上で実施については検討してください。ユーザーグループとしては、できれば妊娠前に90日間のプログラムを済ませておくことをおすすめします。妊娠中・授乳中に実施できなかった場合は、赤ちゃんが離乳食が始まった頃に、まずネオガードチュアブルを粉状にして与えてあげてください。時期がきたらネオクレンズ（10キロ～20キロ／1日1カプセル目安）の開始について考えてみましょう。

Q6)持病があるのですが、いきなり解毒プログラムを実施しても問題ないでしょうか？

A6) 解毒を効果的に実施するためには、ある程度体力が必要になってきます。持病がない方でも、解毒の取り組み自体が初めての方の場合は、まずは栄養補強を最低でも3ヶ月程度摂ってからがおすすめです。また持病のある方は栄養補強を最低3ヶ月以上摂って、体力がしっかりとついたら後で考えてみましょう。取り入れる時期については、ご相談いただければ体調などを伺った上で提案させていただきます。プログラム実行時は体力を使いますので、栄養補強も一緒に摂るようにしましょう。

Q7)どんな好転反応がでますか？好転反応が酷い場合はどうしたらいいですか？

A7)好転反応は、その方の弱い部分にでることが比較的多いですが、一般的な好転反応例として、だるい、眠い、風邪症状（咳や発熱、喉の痛みなど）、痛みが移動する、検査数値の変化、湿疹、かゆみ、イライラ、便秘、下痢、頭痛、吐き気などがあります。また女性の場合は、一時的な生理周期の乱れや経血量が増えたり、不正出血のような症状がでることもあります。好転反応が出た時は、お水をしっかり摂ることも効果的ですが、あまりにも反応が辛い場合は、無理をせずにサプリメントの量を減らしたり、場合によっては一旦お休みして様子を見ながら再開していただくとよいでしょう。お困りのことがありましたら、ユーザーグループへ相談してください。

Q8)解毒プログラムを年に何度も実施してもよいですか？

A8)90日間のプログラムは年に2～3回取り組んでも大丈夫です。

ユーザーグループオリジナル小冊子のダウンロード版を会員様に限り、無料進呈中！

クエスト会員様に限り無料にて、ユーザーグループオリジナル小冊子「アトピーと向き合う」、「リウマチ／膠原病と向き合う」のダウンロード版をお読みいただけます。

☆ご希望の方にはリンクをお送りしますので、ユーザーグループメール：info@questuser.jp または、電話：03-3969-9070までご連絡ください。なお、ユーザーグループのHP（<http://www.questuser.jp>）からもお申し込みいただけます。

（1冊子につき、お1人様1回限り無料でご利用いただけます。2回目以降の請求は有料となりますのでご注意ください）

☆冊子版（500円／手数料・送料込）につきましては、現在、「アトピーと向き合う」のみでございます。

ご希望の方はユーザーグループのHP（<http://www.questuser.jp>）からお申し込みください。

①『アトピーと向き合う～脱ステ・脱プロ・自然療法～』（全64ページ／画像集あり）

ステロイド外用薬を約15年、免疫抑制剤を約3年使ってきた著者が、自然療法でアトピーを克服してきた記録。アトピーに限らず、体の不調を克服したいと思うすべての人に読んでもらいたい1冊です。

＊巻末には、24年間ステロイドを使用し内臓障害を併発しながらもアトピーを完治させたユーザーグループのアドバイザーによる、自然療法を始める前に、心理的、社会的に準備しておくべき要点を6ページにわたりまとめました。

『アトピーと向き合う～脱ステ・脱プロ・自然療法～』目次

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・	2
01アトピー経歴・・・・・・・・・・	5
02薬を断ったきっかけ・・・・・・・・	8
03脱ステ後の治療①～通院していた頃～	9
04脱ステ後の治療②～「治してもらう」という意識を捨てる～	12
05脱ステ前に試みたこと～体の中をキレイに～	13
06好転反応という考えに出会う・・・・・・・・	15
07栄養補強に出会う・・・・・・・・	17
08好転反応の嵐を乗り越える・・・・・・・・	19
09腸クレンジング～傷がない柔らかい肌～	27
10重金属の解毒①・・・・・・・・	29
11重金属の解毒②・・・・・・・・	33
12ヒールとメンドによる解毒・・・・・・・・	39
13二度目の腸クレンジング、ヒールとメンド&近況	50
14アトピーについて思うこと・・・・・・・・	52
15アレルギーマーチってご存知ですか？	54
おわりに・・・・・・・・	55
自然療法で完治を目指す前に サポートスタッフより	56
編集後記 クエスト・ユーザーグループ	62

画像集 I
p.23～

画像集 II
p.35～



②『リウマチ／膠原病と向き合う』（全82ページ）

リウマチ／膠原病からの回復を目指して、自然療法に取り組んでいる方向けのガイドブックです。

リウマチ／膠原病を解決しようとクエスト社の製品を使い始める方は大変多くいらっしゃいます。健康問題を解決するには、病気についてきちんと理解し、どのように生活を見直していったら良いのかを知ることが大切です。体に良いとされていることが、リウマチ／膠原病の方には無理がある場合もあります。また、回復過程に、さまざまな体調の変化が訪れます。回復のためには、そうした変化を好転反応として、きちんととらえ、自分の体調と向き合い「治してもらう」という考え方から離れ、自分の心とも向き合う必要があります。そのためのヒントをまとめました。ご家族の方にも読んでいただきたい一冊です。

＊巻末の体験談集IIでは、多くのリウマチ／膠原病から卒業した方の例の中から、2人の方の回復過程を詳しくご紹介した未発表の体験談も掲載しています。回復途上の皆様の参考にさせていただければ幸いです。

『リウマチ／膠原病と向き合う』目次

1 リウマチ／膠原病とは？	7
2 検査について	10
＜検査数値の見方＞	
3 リウマチ／膠原病の治療	12
4 食事を見直す	14
＜食事の注意点＞	
5 生活習慣を見直す	19
6 好転反応の乗り越え方	25
◆痛みへの対処の仕方	
7 サプリメントによる栄養補強	
～お勧めのサプリメントと飲み方～	30
8 リウマチ／膠原病を治そう	
～完治のために～	34
◆薬を止める時期の注意点	
◆リウマチ／膠原病患者の家族の方へ	
9 モチベーション維持のコツ	38
10 治る人、治らないはここが違う	41
＜治る人＞	
＜治らない人＞	
11 健康を維持する／さらなる健康を手に入れる	42
体験談集 I	44
自然療法のみで回復した方たち	
薬+自然療法で回復した方たち	
参考体験談：繊維筋痛症のような症状から解放されました	
体験談集 II	53
10年間のステロイド注射から卒業しました	
リウマチ症状、強膜炎、シェーグレン症候群からの回復	
薬を併用しながらリウマチを卒業しました	

薬剤師健康コラム

薬剤師専門相談の例	11
痛みと鎮痛剤のおはなし	23
季節ごとのアドバイス	43

コラム

ステロイド外用薬と痛み	11
断食療法について	16
現代型栄養失調について	17
腸内環境と免疫力	18
自分の治癒力を信じる	26
腹式呼吸法と丹田式呼吸法について	28
家事との関係	34
生活の工夫	35
妊娠と出産	36
子育てと治療	36
関節の変形	37

Q&A

冷え取りはいつまで行えばよいのでしょうか？私は冷えてないと思うのですが好転反応と悪化の区別がつきません
早く治したいのですが、サプリメントや水はたくさん飲んだ方が効果的ですか？
免疫力を上げるサプリメントはリウマチを悪化させ、クスリの効果を減らしませんか？
治った後もサプリメントを飲まなければいけませんか？
どうしても早く症状を取り去りたい
関節の変形が怖くて不安が大きい
薬は絶対止めた方がよいですか？

<クエスト・ユーザーグループからのお知らせ>

☆ユーザーグループでは、お勧めのサプリメントやサプリメントの効果的な飲み方、好転反応の乗り越え方、ご予算に応じたサプリメントのご提案・・・など、電話03-3969-9070(受付時間10-16時 土日祝を除く)またはメール、info@questuser.jp にて相談を承っております。また、様々な健康問題を抱えている方のために、電話での専門相談(予約制／無料)もお受けしています。安心してクエスト製品をお使いいただくためにも、お気軽にご利用下さい。

～無料相談のご案内(予約制)～

<予約方法>メールか電話にてご予約ください。

☆薬剤師相談☆ (いずれも10時、11時、12時)

4月：24日、26日

5月：8日、10日、17日、23日、29日、31日

☆リウマチ卒業生相談☆ (いずれも13時、14時、15時)

リウマチから卒業したスタッフによる相談を行っております。脱薬時の不安など経験者だからわかることをお話いただけます。

4月：27日

5月：10日、19日、30日

★留守番電話対応について★

ユーザーグループの電話相談時間は、現在のところ平日10時～16時のため、仕事などでご相談できないという方やメールを書く時間がないという方のために、受付時間帯以外は、留守番電話でご用件を承っています。代表電話番号03-3969-9070に電話を頂きますと、メッセージが流れますので、その後、会員番号、お名前、ご相談内容をはっきりとお伝えください。そして最後に、こちらからお返事するのにご都合の良い方法(電話、メールなど)をお知らせください。

<クエスト・ユーザーグループ>▷

●WEBサイト：<http://www.questuser.jp>▷

●ユーザーグループ・ブログ▷
<http://d.hatena.ne.jp/questuser/>